

予算を「家計」に例えたら

市の予算を10万分の1の「32万5000円」として、1か月の家計簿に置き換えてみると、以下ようになります。

収入（カッコ内は予算科目）	金額
基本給（市税、使用料、手数料など）	7万9000円
諸手当（地方交付税など）	8万6000円
親からの仕送り（国県補助金など）	9万8000円
銀行からの借入（市債）	4万6000円
預金の取り崩し（繰入金）	1万4000円
先月の残金（繰越金）	2000円
合計	32万5000円



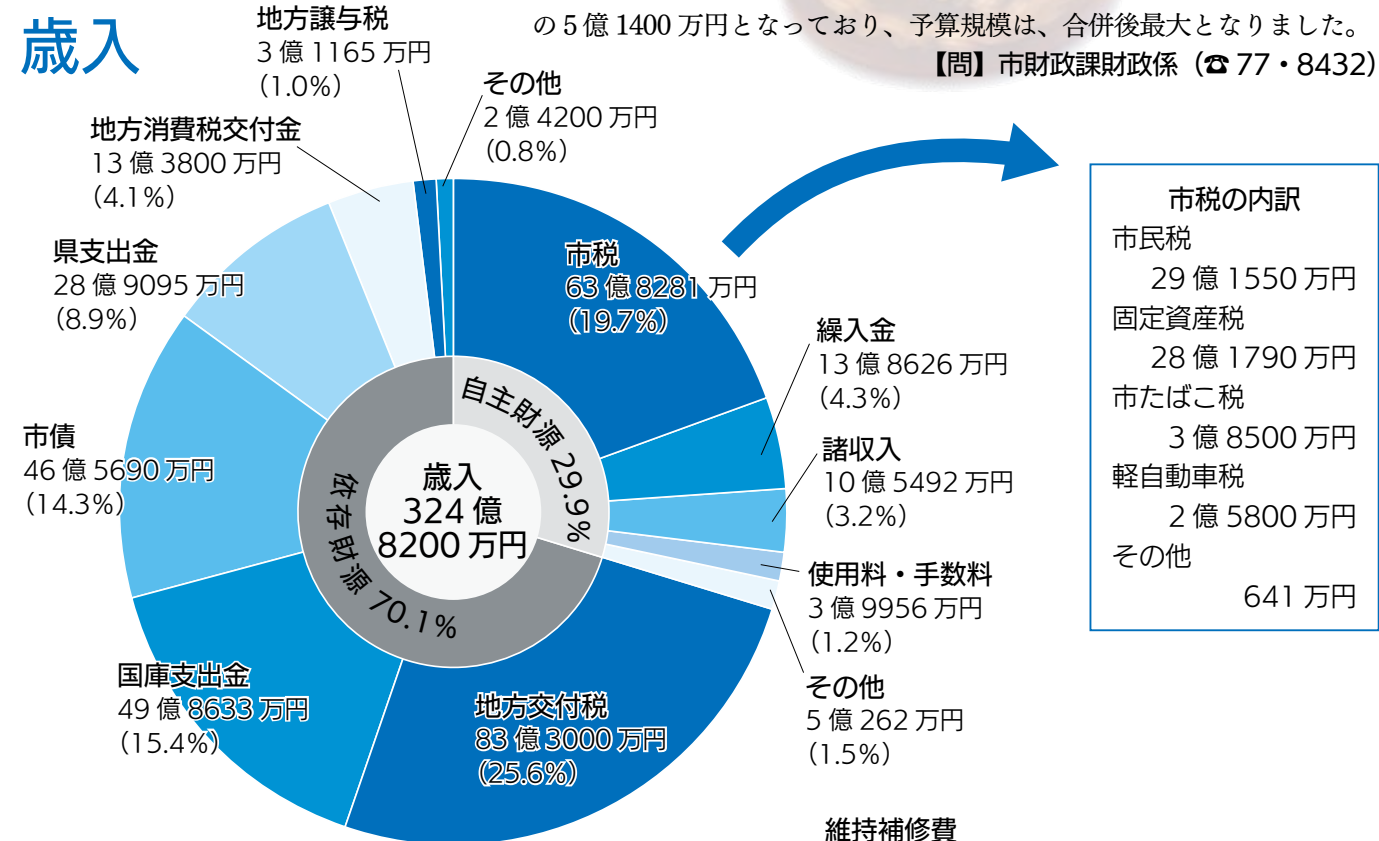
支出（カッコ内は予算科目）	金額
食費（人件費）	5万円
医療費、教育料など（扶助費）	8万1000円
水道光熱費、物品購入費用（物件費）	3万7000円
家や車などの修理、電気製品などの購入費用（維持補修費、普通建設事業費）	6万1000円
家族への仕送り、自治会費など（繰出金、補助費など）	5万7000円
借入金の返済（公債費）	3万2000円
友達に貸すお金（貸付金）	4000円
雑費（その他）	3000円
合計	32万5000円

令和2年度一般会計予算

合併後最大の324億8200万円を計上

令和2年度の柳川市一般会計予算が3月の市議会定例会で可決・成立しました。今年度は、第2次柳川市総合計画の後期基本計画に掲げる4つの政策目標を実現するための各施策に予算を重点化しました。予算総額は歳入、歳出いずれも324億8200万円。昨年度当初予算に比べて1.6%増の5億1400万円となっており、予算規模は、合併後最大となりました。

【問】市財政課財政係 ☎77・8432



市民税	29億1550万円
固定資産税	28億1790万円
市たばこ税	3億8500万円
軽自動車税	2億5800万円
その他	641万円

主な歳入

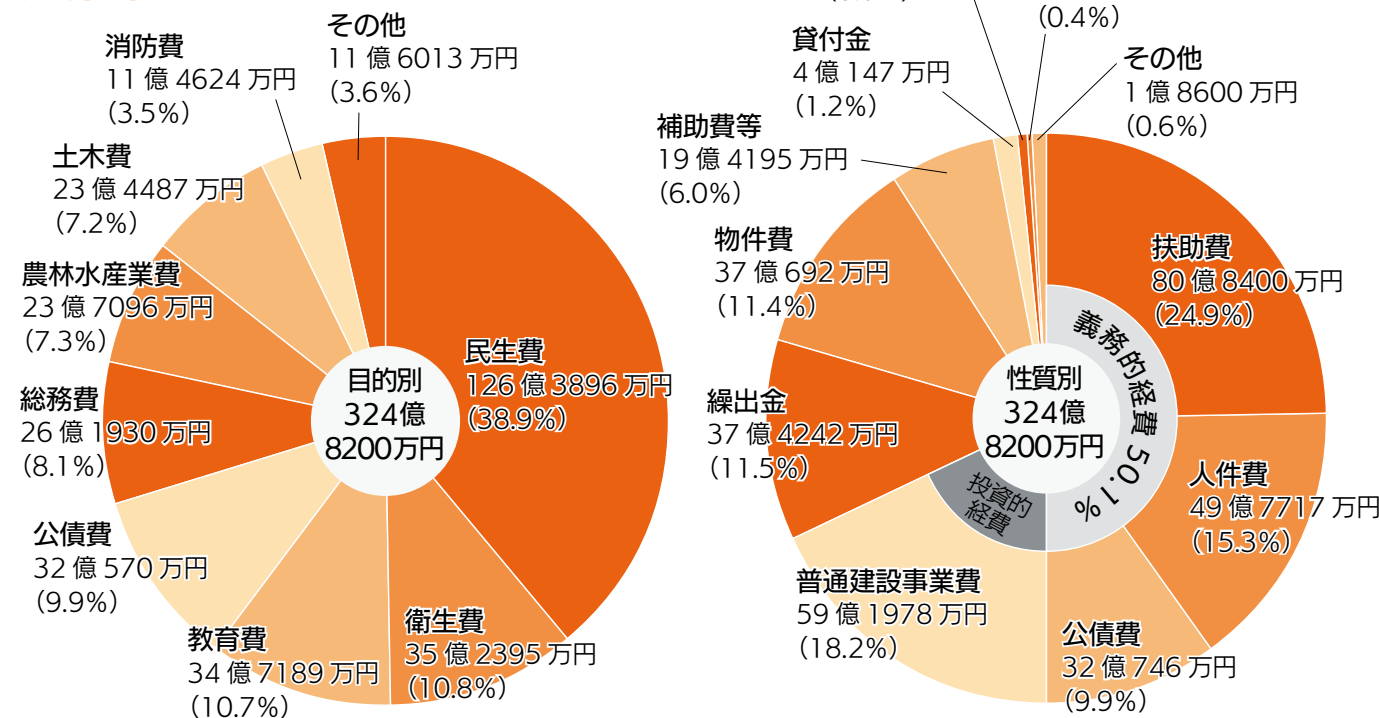
- 市税** 前年度の収納見込み、税制改正などを勘案し、前年度に比べ、1億1420万円増の63億8231万円を計上しています。
- 地方交付税** 前年度に比べ、2000万円減の83億3000万円を計上しています。
- 市債** みやま市と共同で進めている一般廃棄物処理施設整備事業の進捗や、消防施設整備事業、水郷柳河掘割地区整備事業などにより、前年度に比べ、3670万円増の46億5690万円を計上しています。このうち、合併した市町村に限り特例として認められる合併特例事業債は、15億2120万円です。

主な歳出

【性質別】 義務的経費は前年度に比べ、1億8885万円増の162億6863万円を計上しています。

- 市税** 子育て支援や障がい者支援などの経費が増加したことにより、前年度に比べ、1億3189万円増の80億8400万円を計上しています。
- 人件費** 会計年度任用職員制度運用に伴う報酬減少（謝礼、委託料へ移行）により、前年度に比べ、667万円減の49億7717万円を計上しています。
- 普通建設事業費** 市民文化会館整備推進事業や新火葬施設整備等事業の予算計上額が減少した一方で、一般廃棄物処理施設が、建設事業の本格化により大幅に増額しています。総額は、前年度に比べ、3億791万円減の59億1978万円を計上しています。
- 物件費** 学校給食費の公会計化や小学校教育に必要な指導書などの購入により、前年度に比べ、2億1466万円増の37億692万円を計上しています。
- 民生費** 保育所や認定こども園の利用者増加や保育士の勤務環境改善のため、保育資格を持たない保育補助者を雇い上げる市内保育所などへ補助金などを支給。前年度に比べ、2億8061万円増の126億3896万円を計上しています。
- 衛生費** 一般廃棄物処理施設整備事業の進捗に伴う事業費を増額。また、ごみ排出量の1割削減を目指し、電動生ごみ処理機購入に対する補助や啓発グッズ、看板の作成、回収ボックスの設置補助などにより、前年度に比べ、6億9196万円増の35億2395万円を計上しています。
- 土木費** 社会資本整備総合交付金を活用した水郷柳河掘割地区整備事業を新たに計上。また、高橋中牟田線道路整備事業の進捗に伴う事業費の増額などにより、前年度に比べ、2億1058万円増の23億4487万円を計上しています。

歳出



合併特例債は8事業に15億2120万円を活用

平成17年3月31日までに合併申請を行い、平成18年3月31日までに合併した市町村に特例として認められる合併特例事業債は、15億2120万円を借り入れ、排水路整備事業や道路整備事業など、以下の8事業に活用する予定です。なお、この合併特例事業債は、元利償還金の70%が地方交付税として交付される財政的に有利な地方債です。

合併特例事業債（市債）

橋本集会所建設事業	300万円
地域子育て支援拠点施設整備事業	560万円
新火葬施設整備等事業	2350万円
排水路整備事業	2億740万円
道路整備事業	4億4500万円
三橋筑紫橋線都市計画街路事業	1億2350万円
水郷柳河掘割地区整備事業	9290万円
市民文化会館整備推進費	6億2030万円
合計	15億2120万円

特別会計

特別会計は、特定の事業のために、特定の歳入、歳出を一般会計とは区別して経理する会計です。市には4つの特別会計と2つの企業会計があり、それぞれの会計の歳入、歳出予算額（1万円未満四捨五入）は次のとおりです。

特別会計	予算額	内容
国民健康保険特別会計	89億2377万円	自営業者や農漁業者など、国民健康保険加入者の医療費を支払う会計。【主な歳入】国民健康保険税17億6858万円、県支出金62億9549万円【主な歳出】医療や出産育児一時金などの保険給付費61億1278万円、国民健康保険事業費納付金25億7459万円
後期高齢者医療特別会計	10億9800万円	75歳以上の高齢者の医療費の支払いは、県内の全市町村が加入している県後期高齢者医療広域連合で実施。【主な歳入】保険料7億4042万円、一般会計からの繰入金3億5151万円【主な歳出】同連合に支払う納付金10億7081万円
住宅新築資金等特別会計	63万円	住宅新築資金等の貸付事業は終了。現在は、貸付金の回収事務、事業を行うために借りていたお金を返すための事務を実施
公共用地先行取得等特別会計	1万円	公共事業を円滑に進めるため、用地を先行取得するときに活用する会計。活用に備えて歳入、歳出とも5000円だけを計上
水道事業会計 【企業会計】	収益的収入	14億7706万円
	収益的支出	14億4961万円
	資本的収入	6億3880万円
	資本的支出	10億5881万円
下水道事業会計 【企業会計】	収益的収入	8億6192万円
	収益的支出	8億4906万円
	資本的収入	3億5149万円
	資本的支出	7億938万円

基金・市債残高の推移（一般会計）

基金残高 ※R1・2年度は見込額

年度	基金残高	うち財政調整基金
H28	118億円	56億円
H29	124億円	56億円
H30	129億円	60億円
R1	122億円	52億円
R2	110億円	42億円

市債残高 ※R1・2年度は見込額

年度	市債残高	うち臨時財政対策債
H28	307億円	122億円
H29	301億円	122億円
H30	313億円	122億円
R1	348億円	119億円
R2	365億円	116億円

※令和2年度末の市債残高約365億円のうち約274億円は、交付税により補填されます。

施策の柱となる今年度の主な事業

若い世代の希望を叶え、柳川の子育て、暮らしに幸せを感じる **ひとつづくり**

- ▶ **学校給食費の公会計化 2億8021万円（新規）**
集金が負担になっているとの保護者の声や、文科省が示している公会計化を進める方針も踏まえ、私会計で処理していた学校給食に係る予算を、令和2年度から市の一般会計に組み入れ公会計化。保護者負担の軽減と会計処理の適正化を図ります。
- ▶ **母子手帳アプリ導入事業 60万円（新規）**

子育てしやすい環境をつくるため、妊娠・出産・子育て期の情報提供の方法として、スマートフォンアプリによるサービスを提供します。

▶ **産後ケア事業 141万円（新規）**
出産し、退院した直後から3か月までの赤ちゃんとお母さんを対象に、小児科医と助産師による相談会を毎月開催することで、母子の心と体をサポートします。



水郷柳川の風情や快適さに共感し、人を惹きつける **まちづくり**

- ▶ **水郷柳河掘割地区整備事業 1億8627万円（新規）**
広域拠点であり、市の玄関口である西鉄柳川駅周辺地区、観光拠点である沖端水天宮周辺地区などの拠点機能強化や、柳川らしい景観整備を通じたさまざまな取り組みを行い、市街地の賑わいを創出します。
- ▶ **柳川市可燃ごみ減量作戦プロジェクト事業 1342万円**
ごみ排出量の1割削減を目指し、電動生ごみ処理機購入に対する補助や啓発グッズ・チラシの作成を行い

ます。また、ごみの減量化に向け、パンフレットや看板の作成、回収ボックスの設置補助を行います。

▶ **掘割の夜間景観整備事業 1197万円（新規）**
福岡県宿泊税交付金や国の社会資本整備総合交付金などを活用して掘割の夜間照明を整備し、魅力ある景観を創出します。新規演出と既存照明の改善を合わせ12カ所を整備する計画で、令和2年度は城堀水門、弥兵衛門橋周辺など5カ所を予定。これにより、夜の川下りの活性化、宿泊客増加などの効果が見込めます。



柳川の歴史・文化・風土に誇りと愛着を持つ **ふるさとづくり**

- ▶ **立花宗茂再封400年記念特別展「宗茂再封！」 210万円（新規）**
立花宗茂が旧領柳川へと復帰して400年の節目の年を迎えるにあたり、12月初旬～来年2月初旬にかけて、立花家資料館と共同で特別展を開催します。
- ▶ **NHK大河ドラマ招致事業 650万円**
NHK大河ドラマの招致を目指し、引き続き招致委員会などと一緒に招致活動を行います。また、令和2

年度からは福岡県との合同事業「立花宗茂公 柳川再封400年記念イベント」を市内で開催するなどの招致活動を行います。

▶ **市民文化会館普及促進事業 1500万円（新規）**
12月20日の開館から令和4年度までを文化会館の普及促進の強化期間と位置づけ、文化会館自主事業実行委員会を主体とした文化振興などの拡大に向けた事業を展開します。



柳川の地域資源や産物を誇れる **しごとづくり**

- ▶ **漁協共同利用施設整備事業補助金 2412万円（新規）**
漁協が整備する共同利用施設（冷却設備、佃煮加工施設等）に補助金を交付することで漁業振興を図ります。
- ▶ **観光プラットフォーム（仮称）構築事業 1050万円（新規）**
柳川観光の新たな価値創造のため、観光協会を中心

とした民間による中間支援組織である観光プラットフォーム（仮称）構築を目指します。

▶ **スマート農業推進事業費補助金 440万円（新規）**
水田農業における担い手不足や高齢化を踏まえたICT技術によるスマート農業機械の導入により、経営規模の拡大省力化、生産者の所得向上を図ります。

